

瀬戸内国際芸術祭キックオフ・イベント



アートとコメの
収穫祭

出店者募集

応募締め切り2009年10月14日(水)

日時：2009年10月31日(土)、11月1日(日)10:00～16:30

会場：香川県直島町積浦地区特設会場

期間中の滞在は？

期間中、快適に滞在していただけるよう出店者の方のみ、会場周辺にて1泊1食(朝食付)の宿泊施設の手配を行います。申し込みの際に、「宿泊希望」と明記してください。その後、数箇所 of 宿泊施設からお選びいただけます。お一人様からグループまで、ご希望にあった宿泊施設を手配します。

各施設の宿泊料金：2,730円～4,830円(お一人様あたり)

[注意事項]

・宿泊希望の方は、氏名、男女の構成、小人の有無、人数などを応募の際に必ず明記してください。また、宿泊施設によっては男女別での相部屋になる可能性があります。あらかじめご了承ください。
・宿泊施設のご予約は、応募用紙到着後、出店決定の通知と宿泊施設のご案内、ならびに宿泊予約に関する資料をお送りします。なお、宿泊予約に関する資料の送付は、出店のお申し込みの先着順にお送りさせていただきます。あらかじめご了承ください。



左：つつじ荘 右：パオ(モンゴルテント)

ご応募、待っています！

下記の必要事項を明記のうえ10月14日(水)までに作品や商品のポートフォリオと一緒に郵送、FAX、E-mailでお申し込みください。

※出店決定の通知および出店についての資料は、お申し込み後、随時お送りします。

- ① グループ名(ふりがな) ② 氏名(ふりがな)
- ③ 住所 ④ 年齢 ⑤ 性別 ⑥ 連絡(TEL、FAX、E-MAIL)
- ⑦ ブースのタイプ(「フルブース」「ハーフブース」からお選びください。)
- ⑧ 出店する人数 ⑨ 付属品の希望(つくえ_台希望、イス_脚希望)
- ⑩ 宿泊の希望(ご希望の方は「氏名」「男女構成」「小人の有無」「人数」を明記ください。応募用紙到着後宿泊施設の手配を行います。)
- ⑪ 搬入方法(「車」「徒歩」「宅配便」からお選び下さい。なお、宅配便はお客様負担とさせていただきます。)
- ⑫ 資料の返却(要・不要を明記してください。なお、出店者の資料の返却は収穫祭当日に行います。)
- ⑬ 出店作品の概要 ⑭ 個人PR

<個人情報利用目的>

応募用紙にご記入頂く内容は、アートマーケットの出店者の選考、出店者管理、また次回開催時のご案内などの目的で使用します。

応募・お問い合わせ先

〒761-3110 香川県香川郡直島町3449-1 地中美術館内
「アートとコメの収穫祭」担当：藤井、高山まで
TEL:087-892-3755 FAX:087-840-8285
(電話対応時間：火～日曜日10:00～18:00)
E-MAIL: s-fujii@fukutake-artmuseum.jp

URL：www.komezukuri-project.com より「アートとコメの収穫祭」ページをクリック!!

「アートとコメの収穫祭」とは

「アートとコメの収穫祭」は、毎年秋の収穫時、直島（香川県）で開催される「アートと食と地域」が出会うお祭りです。

「収穫祭」では、作品や農作物を含む商品が展示・販売・購入可能な“マーケット”、そして参加者と地元の方々が共に収穫を祝うことができるさまざまな“イベント”が展開され、また直島に関わりのあるアーティストによるワークショップが行われます。「収穫祭」を通じて、地域独自の文化と外部の文化が出会い、そして瀬戸内という広域的な範囲において人や物の流れを生み、この地域から新しい価値を生み出すことを目指しています。

日時：2009年10月31日(土)、11月1日(日) 10:00～16:30

会場：香川県直島町積浦地区特設会場

主催：株式会社ベネッセコーポレーション、財団法人 直島福武美術館財団

共催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会（予定）

マーケットに出店するには？

「収穫祭」の期間中に行うアートマーケットの出店者を募集します。

はじめて出店する方も気軽にご参加いただき、収穫の秋を瀬戸内で一緒に祝い、楽しみましょう！

募集期限：2009年10月14日(水) 必着 募集数：100組

募集内容：アートから農作物までジャンルは不問。平面、立体、ビデオ、パフォーマンス等形式は問いません。飲食物やカフェも出店可能です。

(一部、制限があります。まずはご応募いただき、お問い合わせください)

そのほか「収穫祭」では、地元の方々による新鮮で安心な収穫市場が開かれたり、あと1年に迫った「瀬戸内国際芸術祭」のキックオフ・イベントも行います。出店者の方々も、ぜひご参加ください！

◎ 2010年開催「瀬戸内国際芸術祭」キックオフ・シンポジウム

◎ アーティストによるワークショップ

◎ 「直島コメづくりプロジェクト」が活動する積浦田園にて行う田んぼの演奏会

◎ 地元で収穫した米や野菜をたっぷりつかった食事会 など

費用はどのくらいかかる？

展示や販売の内容によって、2通りのブース(出店場所)から選べます。

ブースタイプ	サイズ	出店費(税込)	付属物
フルブース	幅180cm×奥行180cm	10,000円	テント/机 (電気はオプション)
ハーフブース	幅180cm×奥行90cm	6,000円	

[注意事項]

・ブースの場所は、主催者側が決定します。

ブースには、壁やプライスカードなどの付属品はありません。各自展示や販売に必要なものをご用意ください。イス、机はお貸し出しますが、数に限りがあります。

・必要により電気を1ブース5,000円で提供します。応募の際に使用理由、使用量(目安)などを必ず明記してください。使用理由や使用量によっては、提供できない場合もあります。またIHクッキングヒーター、ホットプレートの使用はご遠慮ください。

「アートとコメの収穫祭」レポート



「直島コメづくりプロジェクト」について



昨年(2008年)の「収穫祭」は、11月15日(土)・16日(日)の両日、直島・積浦地区の特設会場にて開催、来場者数は過去最高の1,700人(2日間合計)。マーケット会場では、55組(一番遠くからは山形県)の出店があり、多くの作品や商品が展示・販売されました。イベントとして行われた「2008年産 直島米試食会」では、200人分の食事が10分ほどで完配。また、プロの太鼓奏者と地元の太鼓グループが共演した「田んぼの演奏会」では、里山一帯に太鼓の音が響き渡り、「収穫祭」を大いに盛り上げました。「瀬戸内国際芸術祭」をPRするシンポジウムでは、開催地となる各島の方々が魅力ある映像を発表、参加アーティストが意気込みを語り、「芸術祭」への期待が高まりました。

数十年前に途絶えてしまった直島のコメづくりを復活させる「直島コメづくりプロジェクト」を、2006年に開始しました。このプロジェクトは、コメづくりを通じて地元の方々と出会い、そして共に稲を育てることで、休耕田を田んぼに戻していくこと、さらには直島の里山景観を再生することを目指しています。地域の食と農という文化の継承を担うことで、地域の活性化に役立ちたいと考えています。

プロジェクト開始：2006年4月

場所：香川県直島町積浦

範囲：水田5.2反＝5,200㎡ ※2009年4月1日現在。プロジェクト開始時点での田んぼの範囲は3反(3,000㎡)

米の種類：ヒノヒカリ(うるち米)、モチミノリ(もち米)

主催：株式会社ベネッセコーポレーション、財団法人 直島福武美術館財団 URL：www.komezukuri-project.com

瀬戸内国際芸術祭

「アートと海を巡る百日間の冒険」について



古来より交通の大動脈として重要な役割を果たしてきた瀬戸内海。行き交う船は島々に立ち寄り、新しい文化や様式を伝え、そこで暮らす人々の生活が美しい景観や伝統的な風習を育ててきました。瀬戸内国際芸術祭は、アートを道しるべに、心癒す瀬戸内海の風景と、そこで育まれた島の文化や暮らしに出会う、現代アートの祭典です。

会期：2010年7月19日(海の日)～10月31日(日)

会場：瀬戸内海の7つの島(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島)+高松

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

URL：setouchi-artfest.jp